



平成30年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月13日

上場会社名 株式会社フォーシーズホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 3726 URL <http://www.4cs-holdings.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 洲崎 智広  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 室長 (氏名) 内野 紗希 (TEL) 092-720-5460  
 定時株主総会開催予定日 平成30年12月21日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 平成30年12月26日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期の連結業績(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期	2,248	△15.7	37	△66.1	25	△84.3	△45	—
29年9月期	2,668	△38.1	111	△59.9	161	△38.0	200	63.9
(注) 包括利益	30年9月期		△45百万円(—%)		29年9月期		200百万円(63.9%)	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
30年9月期	△6.67	—	△3.2	0.8	1.7
29年9月期	29.21	—	14.6	5.0	4.2

(参考) 持分法投資損益 30年9月期 ー百万円 29年9月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年9月期	3,170	1,434	45.1	208.04
29年9月期	3,268	1,478	45.1	214.75

(参考) 自己資本 30年9月期 1,428百万円 29年9月期 1,474百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
30年9月期	93	166	△156	1,690
29年9月期	240	44	196	1,586

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
29年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
30年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
31年9月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

3. 平成31年9月期の連結業績予想(平成30年10月1日～平成31年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

平成31年9月期の連結業績予想につきましては、添付資料「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

30年9月期	6,973,470株	29年9月期	6,973,470株
30年9月期	106,710株	29年9月期	105,870株
30年9月期	6,867,130株	29年9月期	6,868,046株

(参考) 個別業績の概要

平成30年9月期の個別業績（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期	281	△23.7	6	△95.5	8	△94.2	8	△94.4
29年9月期	368	125.6	138	—	143	—	143	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
30年9月期	1.18		1.18					
29年9月期	20.97		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
30年9月期	2,190		1,276		58.0	185.01		
29年9月期	2,256		1,266		56.0	183.88		

(参考) 自己資本 30年9月期 1,270百万円 29年9月期 1,262百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社が本資料の発表日現在で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、当社の事業を取り巻く市場動向等に関する様々な要因により、記述されている業績予想とは異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に個人消費も緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、米国の保守主義政策による貿易摩擦など国際経済の不確実性も依然として懸念されており、不透明な状況が続いております。

また、当社グループが属する化粧品業界は、近時、異業種からの新規参入、商品の低価格化、販売チャネルの多様化等による競争の激化が続いており、当社グループを取り巻く環境は厳しさを増しております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、中長期的な更なる成長に向けて、各事業会社がそれぞれの特性に合わせた積極的な施策を推進してまいりました。

なお、前連結会計年度に、クレイトン・ダイナミクス株式会社の全株式を譲渡したことにより、前連結会計年度に比べて売上高が424,220千円減少しております。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高2,248,324千円（前年同期比15.7%減）、営業利益37,742千円（同66.1%減）、経常利益25,303千円（同84.3%減）、親会社株主に帰属する当期純損失45,792千円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益は200,597千円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (コミュニケーション・セールス事業)

コミュニケーション・セールス事業におきましては、ラジオによる新規顧客の獲得およびリピート率の向上施策に取り組むほか、ECサイトでの販売強化のため、積極的に広告宣伝費を投下してまいりました。

今後につきましては、新たなメディアへの広告宣伝費投下に加え、リピート率向上のために従来の商品をリニューアルしていく予定であり、商品の開発にも力を入れてまいります。

しかしながら、当連結会計年度におきましては、ラジオによる積極的な広告宣伝を行ってまいりましたが、新規顧客の獲得に苦戦しており、当初予定しておりましたセグメント利益を下回る結果となりました。これにより、売上高1,484,522千円（前年同期比7.7%減）、セグメント損失35,818千円（前年同期は11,098千円のセグメント利益）となりました。

#### (化粧品卸事業)

化粧品卸事業におきましては、当期より販売を開始しております新商品、酵素とオイルの力で汚れを落とす『エクストラオイルクレンジング』並びに毛穴の汚れを酵素が分解し泥で吸着させる『スペシャルパウダーソープ』、肌のひきしめ効果と保湿成分にこだわった美容液化粧水『モイストセラムローション』につきまして、順調に販売店舗数を拡大しております。また、今後につきましては、本年9月に、市場でも高い評価を受けております、古くなった角質を除去する『ナチュラルアクアジェル』の新たな顧客層の開拓のため、パッケージリニューアルを行っており、順次店舗で販売開始しております。

また、SNSを含めた積極的な広告宣伝活動を行うほか、新商品の開発にも引き続き力を入れてまいります。

これにより当連結会計年度におきましては、新商品の販売開始や『ナチュラルアクアジェル』のパッケージリニューアルに伴う販売促進費の増加等により、売上高770,998千円（前年同期比21.1%増）、セグメント利益184,969千円（同2.3%増）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (資産)

当連結会計年度における資産の残高は3,170,416千円（前連結会計年度末3,268,285千円）、その内訳は流動資産2,554,276千円、固定資産616,139千円となり、前連結会計年度末に比べ97,868千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の増加104,312千円、短期貸付金の減少200,000千円、売掛金の増加35,097千円、商品及び製品の増加48,582千円、のれんの償却による減少46,516千円、顧客関連資産の償却による減少34,307千円等によるものであります。

### (負債)

当連結会計年度における負債の残高は1,735,590千円（前連結会計年度末1,790,208千円）、その内訳は流動負債889,779千円、固定負債845,811千円となり、前連結会計年度末に比べ54,618千円減少いたしました。これは主に、買掛金の増加9,926千円、未払法人税等の増加23,801千円、賞与引当金の減少5,653千円、長期借入金の減少142,948千円等によるものであります。

### (純資産)

当連結会計年度における純資産の残高は1,434,825千円（前連結会計年度末1,478,076千円）となり、43,250千円減少いたしました。これは、親会社株主に帰属する当期純損失45,792千円を計上したこと等によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,690,241千円となり、前連結会計年度末と比べて103,880千円増加しております。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、93,462千円（前年同期は240,434千円の獲得）となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益25,303千円、減価償却費60,087千円、のれん償却額46,516千円、売上債権の増加35,097千円、仕入債務の増加9,926千円、たな卸資産の増加45,283千円、法人税等の還付額44,079千円、法人税等の支払額36,988千円等によるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、166,989千円（前年同期は44,444千円の獲得）となりました。

これは主に、短期貸付の回収による収入200,000千円、有形固定資産の取得による支出5,034千円、無形固定資産の取得による支出27,097千円等によるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用された資金は、156,569千円（前年同期は196,689千円の獲得）となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出154,072千円等によるものであります。

#### (4) 今後の見通し

当社グループは、積極的なM&Aを行い更なる成長を目指すため、管理体制の強化に注力しております。

事業基盤の安定と持続的な成長を図るため、効率的な組織体制を築き、経営環境の変化に柔軟に対応できる企業体質を確立してまいります。また、強化した管理体制のもとさらなる成長の手段として積極的なM&Aやグローバルな視点をもった事業展開を行い中長期的な視点にたって、企業価値の向上に邁進してまいります。

以上のように、当社グループは企業価値のさらなる向上を目指した新たな中期経営計画を策定しており、詳細が確定した時点で公表する予定です。なお、各セグメント別の見通しにつきましても、中期経営計画でお知らせいたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの事業は、現在日本国内に限定されていること、連結財務諸表の期間比較性及び企業間の比較可能性等を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際財務報告基準（I F R S）の適用動向等を考慮し、I F R Sの適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当連結会計年度 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,838,641	1,942,953
売掛金	143,632	178,729
商品及び製品	264,847	313,430
原材料及び貯蔵品	22,409	19,110
繰延税金資産	60,396	61,815
短期貸付金	200,000	—
その他	56,444	38,271
貸倒引当金	△12	△34
流動資産合計	2,586,358	2,554,276
固定資産		
有形固定資産		
建物	28,467	29,772
減価償却累計額	△6,917	△8,903
建物（純額）	21,550	20,869
リース資産	9,664	9,664
減価償却累計額	△2,407	△4,340
リース資産（純額）	7,256	5,323
その他	101,563	105,609
減価償却累計額	△97,021	△98,680
その他（純額）	4,542	6,928
有形固定資産合計	33,349	33,121
無形固定資産		
のれん	164,732	118,216
顧客関連資産	368,807	334,500
その他	72,383	80,984
無形固定資産合計	605,922	533,700
投資その他の資産		
繰延税金資産	312	—
その他	42,341	49,318
投資その他の資産合計	42,653	49,318
固定資産合計	681,926	616,139
資産合計	3,268,285	3,170,416

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当連結会計年度 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	41,643	51,570
短期借入金	450,000	450,000
1年内返済予定の長期借入金	154,072	142,948
リース債務	2,216	2,287
未払法人税等	3,375	27,177
賞与引当金	14,653	9,000
返品調整引当金	825	24,063
株主優待引当金	29,522	41,699
その他	135,822	141,033
流動負債合計	832,132	889,779
固定負債		
長期借入金	870,810	727,862
リース債務	5,987	3,873
繰延税金負債	64,124	94,555
資産除去債務	17,153	17,202
その他	—	2,317
固定負債合計	958,076	845,811
負債合計	1,790,208	1,735,590
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	882,788	882,788
資本剰余金	348,117	348,117
利益剰余金	273,855	228,062
自己株式	△29,938	△30,392
株主資本合計	1,474,823	1,428,575
新株予約権	3,253	6,249
純資産合計	1,478,076	1,434,825
負債純資産合計	3,268,285	3,170,416

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成29年10月1日 至 平成30年9月30日)
売上高	2,668,408	2,248,324
売上原価	867,069	532,418
売上総利益	1,801,338	1,715,906
返品調整引当金戻入額	994	825
返品調整引当金繰入額	825	24,063
差引売上総利益	1,801,507	1,692,668
販売費及び一般管理費	1,690,323	1,654,925
営業利益	111,183	37,742
営業外収益		
受取利息	6,588	2,983
貸倒引当金戻入額	64,249	—
受取賠償金	285	508
受取手数料	264	—
その他	3,965	974
営業外収益合計	75,352	4,466
営業外費用		
支払利息	18,686	15,459
事務所移転費用	5,877	—
その他	615	1,446
営業外費用合計	25,179	16,905
経常利益	161,356	25,303
特別利益		
新株予約権戻入益	7,695	—
子会社株式売却益	108,459	—
特別利益合計	116,154	—
税金等調整前当期純利益	277,510	25,303
法人税、住民税及び事業税	47,949	41,772
法人税等調整額	28,963	29,323
法人税等合計	76,913	71,096
当期純利益又は当期純損失(△)	200,597	△45,792
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に 帰属する当期純損失(△)	200,597	△45,792

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成29年10月1日 至 平成30年9月30日)
当期純利益又は当期純損失(△)	200,597	△45,792
包括利益	200,597	△45,792
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	200,597	△45,792
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	882,788	348,112	73,257	△29,663	1,274,495	7,695	1,282,190
当期変動額							
親会社株主に帰属する当期純利益			200,597		200,597		200,597
自己株式の取得				△294	△294		△294
自己株式の処分		4		19	24		24
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△4,441	△4,441
当期変動額合計	—	4	200,597	△274	200,327	△4,441	195,885
当期末残高	882,788	348,117	273,855	△29,938	1,474,823	3,253	1,478,076

当連結会計年度(自 平成29年10月1日 至 平成30年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	882,788	348,117	273,855	△29,938	1,474,823	3,253	1,478,076
当期変動額							
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△45,792		△45,792		△45,792
自己株式の取得				△454	△454		△454
自己株式の処分							
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						2,996	2,996
当期変動額合計	—	—	△45,792	△454	△46,247	2,996	△43,250
当期末残高	882,788	348,117	228,062	△30,392	1,428,575	6,249	1,434,825

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成29年10月1日 至 平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	277,510	25,303
減価償却費	55,118	60,087
のれん償却額	52,159	46,516
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△64,245	22
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△307	△5,653
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△168	23,237
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	8,688	12,176
受取利息及び受取配当金	△6,588	△2,983
支払利息	18,686	15,459
新株予約権戻入益	△7,695	—
子会社株式売却損益 (△は益)	△108,459	—
売上債権の増減額 (△は増加)	332,678	△35,097
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△135,552	△45,283
仕入債務の増減額 (△は減少)	138,597	9,926
その他	△135,331	△5,497
小計	425,091	98,212
利息及び配当金の受取額	7,278	4,002
利息の支払額	△17,633	△15,843
法人税等の還付額	—	44,079
法人税等の支払額	△174,302	△36,988
営業活動によるキャッシュ・フロー	240,434	93,462
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△8,378	△5,034
無形固定資産の取得による支出	△34,583	△27,097
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△184,212	—
敷金の差入による支出	△8,394	△846
短期貸付金の回収による収入	—	200,000
長期貸付金の回収による収入	282,044	—
その他	△2,031	△31
投資活動によるキャッシュ・フロー	44,444	166,989
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	190,000	—
長期借入れによる収入	230,000	—
長期借入金の返済による支出	△219,479	△154,072
リース債務の返済による支出	△4,042	△2,043
その他	210	△454
財務活動によるキャッシュ・フロー	196,689	△156,569
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,657	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	483,224	103,880
現金及び現金同等物の期首残高	1,103,135	1,586,360
現金及び現金同等物の期末残高	1,586,360	1,690,241

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「コミュニケーション・セールス事業」及び「化粧品卸事業」の2つの報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービス

「コミュニケーション・セールス事業」では、化粧品及び健康食品の通信販売を主な事業としております。

「化粧品卸事業」では、化粧品及び入浴剤の卸売りを行っております。

(3) 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、前第3四半期連結会計期間期首をみなし売却日として、クレイトン・ダイナミクス株式会社の全株式を譲渡し、連結の範囲から除外したことに伴い、第1四半期連結会計期間より「カラーコンタクトレンズ事業」を報告セグメントから除外しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理方法と同一であります。報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	連結財務諸表 計上額
	コミュニケーション・セールス事業	化粧品卸事業	カラーコンタクトレンズ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,607,959	636,228	424,220	2,668,408	—	2,668,408
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	195	—	195	△195	—
計	1,607,959	636,424	424,220	2,668,604	△195	2,668,408
セグメント利益又は損失 (△)	11,098	180,779	△70,073	121,805	△10,621	111,183
セグメント資産	1,040,272	923,862	—	1,964,134	1,304,150	3,268,285
その他の項目						
減価償却費	10,485	41,766	807	53,059	2,059	55,118
のれん償却額	37,257	9,258	5,643	52,159	—	52,159
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	44,473	510	—	44,984	8,541	53,525

(注) 第3四半期連結会計期間期首をみなし売却日とし、カラーコンタクトレンズ事業を展開していたクレイトン・ダイナミクス株式会社の全株式を譲渡したことにより、当該事業については、第2四半期連結累計期間までの業績を含めております。

当連結会計年度（自 平成29年10月1日 至 平成30年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額
	コミュニケーション・セ ールズ事業	化粧品 卸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,477,398	770,926	2,248,324	—	2,248,324
セグメント間の 内部売上高又は振替高	7,124	72	7,196	△7,196	—
計	1,484,522	770,998	2,255,521	△7,196	2,248,324
セグメント利益又は損失 (△)	△35,818	184,969	149,150	△111,407	37,742
セグメント資産	917,710	1,021,569	1,939,280	1,231,136	3,170,416
その他の項目					
減価償却費	16,034	41,915	57,950	2,137	60,087
のれん償却額	37,257	9,258	46,516	—	46,516
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	30,134	780	30,914	3,693	34,608

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,668,604	2,255,521
セグメント間取引消去	△195	△7,196
連結財務諸表の売上高	2,668,408	2,248,324

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	121,805	149,150
全社収益（注）1	368,600	281,400
全社費用（注）2	△229,983	△275,106
その他の調整額	△149,238	△117,701
連結財務諸表の営業利益	111,183	37,742

(注) 1. 全社収益は、当社におけるグループ会社からの経営指導料及び受取配当金であります。

2. 全社費用は、当社における持株会社運営に係る費用であります。

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,964,134	1,939,280
全社資産（注）	2,256,370	2,190,080
その他の調整額	△952,220	△958,944
連結財務諸表の資産合計	3,268,285	3,170,416

(注) 全社資産は、報告セグメントに帰属しない持株会社の資産であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成29年10月1日 至 平成30年9月30日)
1株当たり純資産額	214.75円	208.04円
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額(△)	29.21円	△6.67円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、前連結会計年度におきましては希薄化効果を有している潜在株式がないため、当連結会計年度におきましては1株当たり当期純損失のため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成29年10月1日 至 平成30年9月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額又は親会社株主に帰属する当期純損失金額(△)(千円)	200,597	△45,792
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	200,597	△45,792
普通株式の期中平均株式数(千株)	6,868	6,867
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権2種類(新株予約権の数92,000株)	新株予約権2種類(新株予約権の数87,500株)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。